

令和3年10月18日

富士宮市長 須藤 秀忠 様

富士宮市総合戦略有識者会議  
議長 太田 美帆

第2期富士宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について（提言）

富士宮市では、「人口減少社会への挑戦、東京一極集中の是正」という政策課題に対応するため、これまで多くの特色ある施策に取り組まれてきました。

しかしながら、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたり活力ある地域社会を維持するための地方創生の実現は未だ道半ばであります。

このことから、第2期富士宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について、当有識者会議において協議を重ねた結果、今後は、さらに富士宮市が持つ独自性を十分に発揮するとともに、市の内外に向けた情報発信に努められ、より良い施策に取り組まれるよう、下記の意見を提言します。

## 記

### 総括的事項

- 富士宮市は、世界遺産富士山をはじめとする様々な地域資源に恵まれた魅力あふれるまちであり、第1期「総合戦略」では、他都市に類を見ない特徴的な事業を展開してこられました。第2期「総合戦略」においては、それらをさらに磨き上げ、事業の検証を行いながら、地域の特色を最大限に活かした取組を、より一層推進していただきたい。

### 基本目標1 「住んでよし」の安全・安心なまちを創造

- 市民が安心して暮らすためには、医療、福祉、防災、地域活動など幅広い観点から総合的に取り組む必要があります。周辺市町との連携を含め、長期的視野に立って、効果的、効率的な行政運営を行うことにより、今後も時代のニーズに合った「住んでよし」の富士宮市を実現していただきたい。
- 地域の交流の場の整備については、その必要性は高く、地域における各種活動や教育など、地域活性化の拠点として期待されることから、子どもから高齢者に至るまで幅広い世代に活用される拠点施設の発掘と魅力ある企画立案に取り組んでいただきたい。

- 富士山に抱かれた美しい自然環境の保全や地球温暖化防止のためのゼロカーボンシティの推進など、市民および民間事業者とともに、全市を挙げて地球環境にやさしいまちづくりに向けた施策に積極的に取り組んでいただきたい。

## 基本目標2 「訪れてよし」の魅了するまちを創造

- 人口減少に悩む地域の課題解決に向けて、地域外に拠点をもちながらも、地域や地域の人と継続的に関わる「関係人口」の創出に積極的に取り組んでいただきたい。
- 関係人口を定住人口につなげるため、長期的な視野に立った定住人口の拡大に向けて、地元企業情報を幅広い世代にアピールするとともに、ワーケーションやサテライトオフィスなどのテレワークによる新しい働き方に対応した雇用環境の整備に努めていただきたい。

## 基本目標3 「出会ってよし 結ばれてよし」「生んでよし 育ててよし」「学んでよし」のあたたかいまちを創造

- 公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びの実現に向けて、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのないよう、質の高いICT教育のための環境整備に取り組んでいただきたい。
- 富士宮市が長期的に活力を維持していくためには、女性の人口流出や少子化への対応は喫緊の課題である。官民が協働し、市民が多様なライフスタイルを実現できるよう、若い世代における出会いから子育てまでの切れ目のない支援の強化を図っていただきたい。

## 基本目標4 「働いてよし」の活力あるまちを創造

- 「ビジネスコネクトふじのみや」を核に、商工業団体や金融機関等との連携強化を図り、特色ある産業基盤の構築に向けて、中小事業者等への総合支援の強化に取り組んでいただきたい。
- 「働いてよし」の活力あるまちであるためには、労働者自身が意欲をもって働きたいと思える就労環境が必要である。これまでに行われた調査の結果や現状を踏まえ、多様な人材と企業のニーズに応じた就労環境の整備を図り、就業の場の拡大や就業者の定着に向けて、継続的に取組を進めていただきたい。

- ポストコロナ社会におけるニューノーマル（新たな常態）に対応した多様な働き方が進む中、子育てをしながらでも仕事ができる環境づくりやそのための協力体制の整備など、女性が活躍できる社会づくりの構築に向けて、官民連携して取り組んでいただきたい。